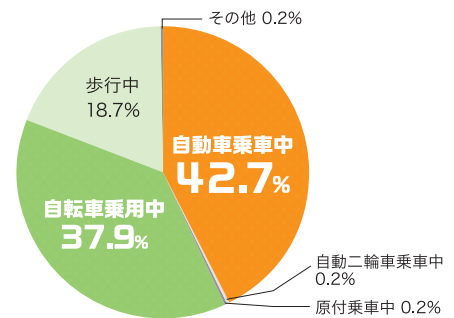


大切なお子様を守る安全装置!

チャイルドシートとジュニアシート 着けぬドライブケガのもと

こどもの交通事故の40%以上は、 車内で起きている!

こどもの交通事故の40%以上は、自動車乗車中に起きています(右図参照)。衝突や急ブレーキを踏んだはずみで、座席から転倒したり、全身を強打したりすることも。だからこそ、チャイルドシート、ジュニアシートをきちんと使用し、危険から身を守ることが大切なのです。



※年齢層別・状態別負傷者数の推移 平成26年度 警視庁資料

身体に合ったチャイルドシート、 ジュニアシートを選ぼう!

道路交通法では、6歳未満のお子様はチャイルドシートの使用が義務づけられています。さらに、身長約150cmまでのお子様は、ジュニアシートが必要です。シートは、「乳児用」「幼児用」「学童用」の3タイプがあります。お子様が大きくなったら、チャイルドシートもそれに合わせる必要があります。

守ろう! チャイルドシート、
ジュニアシートのお約束

- 6歳未満はチャイルドシート使用が義務
- ジュニアシートは身長約150cmまで必要
- 成長に合わせてチャイルドシートを変える

チャイルドシートの種類は3タイプ

出典: JAF はじめてのチャイルドシート クイックガイド



Safety for Everyone

すべての人の安全をめざして

泣いているときも抱っこはダメ!

クルマに乗ったら、赤ちゃんも必ず チャイルドシートに!

1



今日はクルマでお出かけ。
でも赤ちゃんはご機嫌斜め。
ママに抱っこされたいのか、

泣き出してしまいました。

2



「チャイルドシートにくくりつけかわいそう。
抱っこしてあげたら?」とおばあちゃん。
ママはちょっと困り顔です。

3



Point!

抱っこでは、時速40
キロでも急ブレーキ
を踏んだ際などに、
赤ちゃんは飛び出し
てしまいます。

するとパパが「チャイルドシートは、
身を守ってくれるもの。

大切なわが子に装着するのは親の責任だよ」と
おばあちゃんに説明しました。

4



パパの言葉に、おばあちゃんは納得のご様子。
「パパ、ありがとう」と心の中でつぶやくママ。
赤ちゃんもいつの間にか泣き止みました。